

「房総のお浜降り習俗」に関わる祭礼一覧

No.	名 称	所在地	祭 神	備考(日時、ハマオリの場所、呼称など)	資 料
1	七年祭り・三山の七年祭り	船橋市三山(二宮神社)、千葉市幕張(子守神社)ほか計9社【船橋市・千葉市・八千代市・習志野市】	速須佐之男命・稲田比賣命・大國主命・藤原時平ほか(二宮神社)／奇稲田姫命・素盞鳴尊・大己貴尊(子守神社)	丑年・未年の秋(6年に一度)の9月に小祭、11月に大祭。磯出祭を大祭の一環として幕張の旧海岸で実施。二宮神社、子安神社、子守神社、三代王神社の4社が参加。	『七年祭り』
2	千葉神社祭礼／寒川神社祭礼	千葉市	妙見菩薩→天之御中主神(千葉神社)／天照大神・寒川比古命・寒川比売命(寒川神社)	オハマクダリ、オハマといい、出洲海岸妙見洲へ渡御。戦前は8月16～22日の妙見祭礼の一環だったが、戦後は寒川神社祭礼として行う。昭和38年を最後に中断するも平成11年に復活し、8月20日に千葉ポートパークで行っている。	『祭り・行事調査報告書』
3	椎津八坂神社例大祭	市原市椎津	牛頭天王→建速須佐之男命	7月22・23日が祭日。22日の町内渡御の前にハマオリといい海岸付近まで行き神事が行われる。	『房総の神輿』『市原のまつり』
4	若宮八幡例大祭	市原市青柳	大鷗鷲命・武内宿禰・木菟宿禰	かつては6月初酉、その後7月20日に開催。海岸で祭儀。現在休止中。	『絵馬に描かれた五大力船の積荷』
5	てんのまち・八坂神社祭礼	市原市山口	素戔鳴命	7月15日(日)に開催。神輿を水田に入れてから川まで担いで行って洗った。高滝ダム建設(昭和49年に工事着手)以後休止。	『市原のまつり』
6	飯香岡八幡宮秋季大祭	市原市八幡	息長帯姫命・譽田別命・玉依比咩命	昭和35年頃まで神輿が海に入り、オハマオリといった。旧暦8月15日前後の日曜日に実施。	『市原郡誌』『房総の神輿』『房総の祭事』
7	かもんまち・高滝神社秋季大祭	市原市高滝	瓊々杵命・玉依姫命・別雷命	10月中西前後の日曜日に高滝湖畔へ行く。かつては養老川に入った。以前は旧暦8月酉に実施。	『市原郡誌』『市原市の昭和』『市原のまつり』
8	姉崎神社祭礼	市原市姉崎	志那斗辨命・天兒屋根命・大雀命・日本武尊他	7月20日開催。浜町海岸から海へ渡御。かつては島穴神社と神輿の相互担ぎ込みが行われた。	『市原のまつり』『姉崎郷土資料館HP/故郷姉崎町年中行事』
9	春日神社祭礼	市原市今津朝山	武甕槌命・経津主命・天兒屋根命・比賣神	7月23日に開催。内出の部落を通過して海に担ぎ込み、オハマイリといった。埋め立て以降はかつての海岸線まで車で行く。	『東京湾の漁撈と人生』『今津朝山のあゆみ』
10	大杉祭	市川市国分(日枝神社)		昭和10年頃まで船神輿の渡御をし国分川へ流した。現在は神社に据えるのみ。2月11日に実施していたが現在休止中。	『市川市史民俗編』
11	根神社祭礼	習志野市鷺沼	面足尊・惶根尊・素盞鳴尊・猿田彦神	10月17日に鷺沼海岸で実施。現在休止中。	『房総の神輿』『習志野・八千代の100年』
12	神野の祭礼	八千代市神野(熊野神社)	伊弉諾尊・伊弉冉尊	オハマオリといい10月9日に水神社へ行く。元は印旛沼畔へ行った。戦前は毎年、戦後は5年毎に実施。	『八千代市の歴史資料編 民俗』『祭り・行事調査報告書』
13	おおはらくち・三ツ堀どろ祭	野田市三ツ堀(香取神社)	経津主命	4月3日(4月第1日曜)、神池に神輿もろとも担ぎ手が飛び込み、子供たちに泥を投げつけられる。以前は3月初午だった。平成2年以降中止。文書資料にオハマデとある。	『三ツ堀どろ祭』『利根川べりの泥かけ祭り』
14	大杉様祭礼	野田市今上上組		7月25日に開催。船神輿渡御は大正10年までで、現在休止中。	『野田と大杉様』『今上・山崎の民俗』
15	大杉様祭礼	野田市今上下組		以前は7月25日だったが、7月の日曜日となり船神輿を渡御した。昭和27年まで渡御後に江戸川に入った。現在休止中。	『野田と大杉様』『今上・山崎の民俗』
16	大杉様	流山市深井新田		昭和19年までは各戸にお札を配り、利根運河の出口まで担いで行き川に入った。7月27日に行っていたが現在は休止中。	『流山のおびしゃと祭り』
17	大杉様の祭り	我孫子市白山(八坂神社)		1月14・15日。骨組みに杉の葉を差して船の形にした船神輿を町内巡行し手賀沼に流した。平成2年時点で舟神輿渡御のみ。現在休止中。	『我孫子市史民俗・文化財篇』
18	天王様	我孫子市布佐(愛宕八坂神社)	素戔鳴尊・天之迦俱土命	以前は7月6日だったが7月第1日曜になった。昭和50年頃まで利根川に入ったが現在は入水せず、町内巡行中に神輿に水をかける。	『布佐の祭り』
19	台方麻賀多神社祭礼	成田市台方	和久産巢日神・稚日靈神	祭日は7月31日で、現在は7月最終日曜日に実施。神輿が鳥居河岸から印旛沼に入りオハマオリ、ハマイリといった。現在は水辺まで渡御。	『成田市史民俗編』『房総の神輿』
20	埴生神社祭礼・ギオン	成田市郷部	埴山姫命	かつては7月17日、現在は7月第3日曜日の例祭で神輿巡行。寺台の根木名川畔でのオハマオリ祭事は、かつては閏年に行っていたが、平成13年から隔年で実施。九十九里浜のオハマオリ伝承がある。	『成田市史近代編 史料集1』『祭り・行事調査報告書』
21	根山神社祭礼・ギオン	成田市北須賀	速須佐之男命	祭日は7月25日。現在は7月25日以前の土日。かつては印旛沼に神輿のオハマオリが行われた。	『千葉県地名』
22	寺台のギオン	成田市寺台(保目神社)	大市姫之命	以前は7月26・27日だったが今は7月最終の金・土に実施。宵宮に神輿の渡御を行い、根木名川へオハマオリ。あばれ神輿として知られ昔は九十九里浜まで担いだとの伝承あり。	『房総の神輿』
23	松崎のギオン	成田市松崎(二宮神社)	経津主之命	7月26・27日が祭日。27日の本宮で神輿の村回り。かつては千把ヶ池、今は浅間池でオハマオリ。今は池の水をかけている。	
24	助崎ギオン	成田市名古屋(須賀神社)	建速須佐之男命	以前は7月19日だったが今は7月第四土曜日。村回りでは盛大に神輿に水をかけ、最後に尾羽根川でオハマオリ。神輿渡御は令和元年を最後に休止中。	『祭り・行事報告書』『房総の神輿』
25	磯部のギオン	成田市磯部(天神社)		7月20日に子どもたちの行事として実施。かつてはオハマオリを行った。	『成田市史民俗編』
26	荒海のギオン	成田市荒海(須賀神社)	建速須佐之男命	7月15日だったが今は15日前後の土曜日に実施。荒海川のおき橋上で神事、神輿に川の水をかける。以前は神輿を田に転がしていた。	
27	長沼のギオン	成田市長沼(稲荷神社)	保食神	7月海の日を最終日とする3連休に実施し、土曜日の宵宮に根木名川堤防脇の弁天様の鳥居でオハマオリの神事をする。かつては長沼、その後根木名川に入っていたが近年は神事のみ。	
28	竜台のギオン	成田市竜台(六所神社)	鹽土翁之命	7月9日に実施。オタチが露払いして村回りの後、利根川にハマオリした。その後オタチだけの行事となった。	『成田市史民俗編』
29	上福田・大竹のギオン	成田市上福田・大竹(八坂神社)		以前は7月11～12日だったが今は7月12日以前の土日に実施。土曜の宵宮で、ご神体の懸仏を大竹の観行院から預かり、坂田ヶ池でオハマオリ神事を行う。九十九里浜でオハマオリをした伝承がある。	『成田市史民俗編』
30	堀籠のギオン	成田市堀籠(須崎神社)	経津主神	7月15日に白木の神輿とオタチの渡御。最後に神輿を大須賀川の馬洗でオハマオリした。平成元年を最後に休止中。	『大栄町史民俗編』

No.	名 称	所在地	祭 神	備考(日時、ハマオリの場所、呼称など)	資 料
31	吉岡のギオン・天王様	成田市吉岡(八坂神社)	素戔鳴尊	7月23・24日。神輿・山車の巡行は昭和35年頃まで。オハマオリも行っていたようだが詳細不明。現在は神輿を飾って祭事のみ。	『大栄町史民俗編』
32	麻賀多神社祭礼	佐倉市籾木町	稚産霊命	以前は9月14・15日、現在は10月第二金土日曜日に開催。初日に高崎川樋之口橋で浜下(ハマオリ)祭を行う。かつては神楽を奉納した。	『佐倉市史民俗編』 『佐倉の祭礼』
33	鷲神社祭礼	佐倉市先崎	天日鷲命	台地北側の田(干拓前の印旛沼畔)に巡行し、神輿を差上げる。オハマオリという。以前は旧9月9日だったが、現在は3年毎の11月西の日近くの日曜日実施。	
34	竹袋稲荷神社祭礼・木下の祭り	印西市竹袋	倉稲魂命	2月初午の祭礼が江戸時代末に4月3日に。その後10月16～18日に変更され、近年は10月上旬の土日に神輿渡御を行う。木下河岸のお飯屋までオハマオリを行い、一泊して還御。	『印西市史民俗編』 『祭り・行事報告書』
35	吉田宗像神社秋祭り・吉田の秋祭り	印西市吉田	市杵島姫命・多岐都姫命・多岐理姫命	印旛沼畔三叉路の空地でハマオリの式典。昔は沼に入った。以前は10月19日だったが、今は10月中旬に実施	『印旛村史通史II』 『祭り・行事報告書』
36	師戸宗像神社秋祭り	印西市師戸	市杵島姫命・多岐都姫命・多岐理姫命	大正期までは10月14日の宵祭、15日の本祭の両日神輿が出て、印旛沼へオハマオリした。現在は神輿渡御が3年に一度となっている。	『印旛村史通史II』 『祭り・行事報告書』
37	ギオン	栄町須賀(天王様)		以前は7月5～7日の日程で須賀と須賀新田が合同で実施し、5日の宵祇園で利根川に入って神輿を揉んだ。現在は別々に、7月上旬の土日に実施。	
38	ギオン	栄町麻生(八坂神社)		7月7・8日が祭日だったが、7月第一土日に実施。八坂神社(天王様)の下の蓮池に神輿を入れることをオハマイリといった。休止中。	
39	ギオン	栄町龍角寺(八坂神社)	須佐之男命	八坂神社をテンノミヤという。7月14、15日。14日の宵祇園でオハマオリといって亀の子池に入った。池に突き落とすこともあった。現在休止中。	
40	ギオン	栄町南・曾根(八坂神社)		7月15日が祭日だが、土曜日に天王様の神輿とお太刀が地域を回る。最後に神輿を担いだまま将監川に入った。	
41	布鎌惣社水神社祭礼	栄町西	岡象女命・経津主命など	10月23日が祭日。旧利根川と将監川の分流地点に御飯屋を設けて神輿を前日移しておく。23日は例祭式典後、ご神体を御飯屋の神輿に遷す。オハマオリという。奉納相撲終了後、神輿を担いで神社へ還御。	
42	香取神宮式年大祭	香取市香取	経津主神・武甕槌命ほか	午年(12年に一度)の4月15、16日に御船木3基を先頭に神幸。津宮河岸から御座舟に乗って利根川を下り、牛ヶ鼻で鹿島神宮御迎祭が行われる。	『房総の祭事』『香取市歴史的風致維持向上計画』
43	佐原の山車祭り(八坂神社祇園祭)	香取市佐原	素戔鳴尊	7月10日以後の金土日曜に開催。初日に神輿巡行とオハマオリが行われる。隔年で、小野川の忠敬橋あるいは佐香江橋で交互に行う。	『佐原山車祭報告書』『香取市歴史的風致維持向上計画』
44	須賀神社祇園祭	香取市小見川	素戔男命	7月中旬の金土日曜日の祭礼で、初日に黒部川の大橋脇でオハマオリの神事を行う。	『香取市歴史的風致維持向上計画』
45	戸田神社式年大祭	香取市米野井	大國主神	12年に一度の子年10月に、阿玉川の中津瀬の戸田河原で行う。オハマオリという。以前は旧暦9月19日実施	『香取郡誌』『山田町史』
46	森戸の祭り(鎮事)	香取市森戸(八幡神社)	応神天皇	旧暦8月15日に大須賀川の仲橋上でハマオリの神事。かつては川に入っていた。現在は休止中で神事のみとなった。	『祭り・行事調査報告書』 『房総の神輿』
47	御舟木祭(お舟流し)	神崎町神崎本宿(神崎神社)		4月中の午の日に利根川右岸より御船木を流した。現在は神事のみ。	
48	松崎神社神幸祭	多古町東松崎	倉稲魂命・邇邇芸命・大宮比売命	60年毎の丙午の年に実施。野手浜でオハマオリを行う。旧号坂東稲荷本宮。	『多古町史』
49	式年三社御神幸・おおじん様のおおみゆき・銚子みゆき	香取市貝塚(豊玉姫神社)・東庄町宮本(東大社)・旭市見広(雷神社)	玉依姫命・鶴草葺不合命(東大社)	20年に一度4月上旬に実施。4月8日が祭日。銚子の外川浜ではおまおりの祭事を行う。	『銚子市史』『房総の祭事』『祭り・行事調査報告書』
50	東大社の桜井みゆき	東庄町宮本	玉依姫命・鶴草葺不合命	4月8日に近い土曜日に隔年で実施。桜井浜で利根川に入り、オハマオリという。	『祭り・行事調査報告書』
51	神幸祭・銚子潮干祭	銚子市柴崎(海上八幡宮)・松岸町(宇賀大神)・本城町(天御中神社)	誉田別尊・比賣神・大帯姫命(海上八幡宮)	昭和15年まで、7月15日(元は旧暦6月15日)に3社で外川の浜あるいは垣根の利根川畔へ、隔年で交互に渡御。その後宇賀大神のみ平成10年頃まで隔年で垣根の利根川畔へ渡御。現在休止中。	『海上郡誌』『銚子市史』 『海上八幡宮記』
52	祇園	銚子市小浜町(八幡大神)	誉田別尊	7月15日が祭日。海の日に神輿渡御。小浜の浜で海に入り、鳳凰に海水をかける。かつては旧暦6月15日。	
53	御太刀祭り	銚子市黒生(黒生大神宮)		御太刀を和田不動尊に奉納したのが始まり。黒生漁港でお潮取り。明治～昭和中期は2月初午に行っていたが、平成16年に復活し、7月海の日に実施。	
54	大潮祭	銚子市馬場町(銚港神社)	暗淤加美神・汲津彦神・汲津姫神	旧暦6月15日に犬若浦・川漁港前でお潮汲みを行ったが、現在休止中。	『銚子市史』 『祭り・行事調査報告書』
55	大潮祭	銚子市川口町(川口神社)	速秋津姫命(齒櫛明神)	旧暦6月15日に神輿巡行し、銚子漁港第3市場でお潮汲みをする。	『銚子市史』 『祭り・行事調査報告書』
56	大潮祭	銚子市高神西町(渡海神社)	綿津見大神・猿田彦大神	旧暦6月15日に神輿巡行し、外川漁港でお潮汲みをする。	
57	猿田神社式年神幸祭	銚子市猿田町	猿田彦大神・天鈿女命・菊理媛命	60年に一度の庚申年に神幸祭。直近は昭和55年8月に銚子外川浜に神幸しお潮汲み神事を行った。かつては飯岡三川浜に神幸したという。	『飯岡町史』『猿田神社史料集』 『祭り・行事調査報告書』
58	玉崎神社神幸祭・おみゆき	旭市飯岡	玉依毘賣神・日本武尊	60年に一度の庚辰年に野手浜へ神幸。直近は平成元年5月27～29日に開催。	『海上郡誌』『飯岡町史』 『玉の浦なみ』
59	熊野神社神幸祭・おみゆき	旭市松澤	速玉男命・伊邪那美命・事解之男命	10月5日が祭日。12年に一度の卯年10月に三川浜へ神幸し、オハマオリを行う。三川浜に熊野神出現の伝承あり。	『干潟町史』
60	辰の御神幸	旭市西足洗(浦賀神社)	【第六天】面足尊・惶根尊	12年に一度の辰年、旧暦11月7日に野中浜へ神幸し、オハマオリを行う。東足洗浜に第六天出現の伝承あり。	『野中村誌』『旭市史』 『祭り・行事報告書』
61	二玉姫神社のお浜降り	旭市中谷里	玉依姫命	33年に一度、旧暦9月21日に川向浜・西丁浜へ神幸し、オハマオリを行う。	『旭市史』 『祭り・行事報告書』
62	熊野神社神幸祭	旭市井戸野	伊弉諾尊	33年に一度、旧暦9月7日に井戸野浜へ神幸し、オハマオリを行う。	『旭市史』 『祭り・行事報告書』
63	日月神社のみゆき	旭市駒込	天照大神・月讀尊(弘文帝・妃)	33年に一度10月7日に駒込浜へ神幸し、オハマオリを行う。	『旭市史』 『祭り・行事報告書』
64	惶根神社神幸祭	旭市神宮寺	素戔鳴尊	10月7日に隔年で神宮寺浜へ神幸し、オハマオリを行っていた。かつての祭日は旧暦9月20日。平成21年以降中止。	『旭市史』 『祭り・行事報告書』

No.	名 称	所在地	祭 神	備考(日時、ハマオリの場所、呼称など)	資 料
65	内裏神社神幸祭・みゆき	旭市川口・泉川入会地	弘文天皇・耳面刀自命	33年に一度、旧暦9月23日に匝瑳市の内裏塚浜へ神幸し、オハマオリを行う。	『旭市史』 『祭り・行事報告書』
66	矢指神社の祇園	旭市椎名内	大国主尊	旧暦6月7日の祭礼でオハマオリを行っていた。7月第一日曜日となったが、現在休止中。	『旭市史』
67	秋葉神社御神幸	旭市鎌木	火之迦具土神	33年に一度旧暦9月18日に実施していたが10月17日になり足川浜でオハマオリを行っていた。現在休止中。	『古城村誌』『干潟町史』
68	松山神社祭礼	匝瑳市松山	伊邪那美命・誉田別命・天兒屋根命	祭日は10月13日。神輿渡御は13日に近い土日に行く。かつては野手浜でオハマオリが行われた。	『八日市場市史』
69	六社大神神幸祭	匝瑳市野手	伊邪那岐大神・伊邪那美大神・天照大神ほか	祭日は10月17日。10月第二日曜日に神輿渡御。野手浜でオハマオリを行う。	
70	十二所神社神幸祭	匝瑳市川辺	国常立尊・国狭槌尊・天照大神ほか	10月第二日曜日に野手浜でオハマオリを行う。六社大神と合同祭となっている。	
71	本須賀八坂神社祭礼	山武市本須賀	素戔鳴尊	旧暦6月7日だったが現在は7月最終土曜日。本須賀海岸でオハマオリ。以前は海に入ったが、今は海岸で揉み差しを行う。	『山武の昭和』『房総の神輿』
72	日吉神社祭礼	山武市埴谷	大山咋命	10月13・14日に地区境の境川でハマオリ。かつては川に入ったが、岸辺で神事を行う。	『房総の神輿』
73	金刀比羅祭礼	山武市松尾町八田	大名持命・大日靈命	祭日は10月10日。神輿渡御は、近年は10月第一土曜日となった。戦前はオハマオリを行っていた。	『祭り・行事調査報告書』
74	五所神社祭礼	山武市蓮沼	天照大日靈貴命・譽田別命ほか	旧暦6月23日だったが8月1日になり、現在は8月第一日曜日に神輿渡御。かつてはオハマオリを行っていた。	『蓮沼村史』 『祭り・行事調査報告書』 『房総の神輿』
75	稲荷さまの祭り・稲荷神社祭礼	山武市蓮沼八区・前里	倉稲魂命	10月18・19日だったが10月第三土曜日になった。本祭で神輿渡御。ハマオリは3年に一度の実施。休止中。	『祭り・行事調査報告書』『房総の神輿』
76	八坂神社祭礼	山武市上横地	素戔鳴尊	旧6月7日。8月第一土曜日。昭和30年頃まで木戸川にハマオリ。さらに昔は九十九里浜にハマオリしていた。	『房総の神輿』
77	田越の浅間さま	山武市松尾町田越	木花開耶姫尊	天正8年から幕末まで、33年に一度オハマオリが行われた。	『松尾町の歴史上巻』
78	四天木の天王さま	大網白里市四天木(八坂神社)		旧暦6月7日が祭日。以前は7月15日の海の日だったが海の日の前日の日曜日になり、白里海岸で海に入る。シオフミという。	『祭り・行事調査報告書』 『山武の昭和』
79	稲生神社例祭	大網白里市四天木	豊受姫命	9月29日に神輿渡御。四天木の海岸で海に入った。	『山武の昭和』
80	粟生の天王様・粟生の浜祭り	九十九里町粟生(面足神社)	【第六天】面足尊・惶根尊	旧暦1月7日が祭日。旧暦1月の第一土日に行く。ハマオリは土曜日。新田の獅子舞、納屋の羯鼓舞に先導され粟生納屋の海岸で海に入る。	『祭り・行事調査報告書』 『房総の神輿』
81	須原まつり	九十九里町片貝須原(稲荷神社)	宇氣母智神	かつては旧暦1月22日だったが3月第一日曜日、近年は4月上旬となる。羯鼓舞に先導され片貝海岸で海に入る。ハマオリという。	『祭り・行事調査報告書』
82	西の下の天王様	九十九里町片貝西の下(八坂神社)	須佐之男命	旧暦2月7日から3月中旬に。宵宮と本祭で獅子舞とともに片貝海岸へ赴き海に入り、ハマオリという。かつては大漁祈願の船渡しも行った。神輿渡御は現在休止中。	『九十九里町誌 各論編 下巻』 『祭り・行事調査報告書』
83	天王祭・真亀の天王様	九十九里町真亀下(須賀神社)	須佐之男命	旧暦6月7日から7月最終日曜日に。羯鼓舞・獅子舞とともに真亀海岸へ赴き海に入る。おんべん囃子、ゴウレンショウなどがある。休止中。	『九十九里町誌 各論編 下巻』 『祭り・行事調査報告書』
84	宮門神社祭礼	芝山町大台	彦忍人命	7月27日に高谷川の吹入橋でオハマオリした。神輿渡御は休止中。	『芝山町史 民俗編』
85	祇園祭	横芝光町横芝(八坂神社)		以前は旧暦6月15日だったが、8月第一土曜に宵祭、日曜が本祭。宵祭で神輿が栗山川に入った。令和元年以降、川への入御は中止。	『横芝のまつり』
86	橋樹神社祭礼	茂原市本納	弟橘媛命・日本武尊・忍山宿彌	10月10日が祭日。現在は3年に一度、体育の日の前日の日曜日に行っている。祭礼に先立ち神職たちが浜で神事を行い海に入る。オハマオリといい、禊であり、またご神霊を海から迎える意味があるという。	
87	一宮裸まつり・上総裸まつり・十二社まつり	一宮町一宮(玉前神社)、陸沢町岩井(鶺鴒神社)ほか 【一宮町・陸沢町・茂原市・いすみ市】	玉依姫命(玉前神社)／彦火火出見命・豊玉姫命・鶺鴒草不合命(鶺鴒神社)	9月8～14日に行われる祭礼。13日が一宮玉前神社例大祭で、5社9基の神輿が砂浜を駆けて釣ヶ崎海岸に渡御し、祭典が行われる。砂浜を駆けることをシオフミという。	『一宮町史』『祭り・行事報告書』 『千葉県史 別編 民俗1』
88	東浪見天王マチ	一宮町東浪見(八坂神社)	素戔鳴尊	7月7日に神輿渡御。東浪見海岸・釣ヶ崎海岸に赴くことをシオフミという。現在は7月第一日曜日	『東上総の社会と文化』
89	原天王マチ	一宮町上ノ原(八雲神社)	須佐之男命	7月7日に神輿渡御。新浜に赴き、シオフミという。現在は7月第一日曜日。かつては船渡しを行った。	「上総沿岸のシオフミ」
90	愛宕まつり・十二神社例祭	一宮町一宮(玉前神社)	軻遇突智神ほか	10月27日、28日。28日に神輿が下村の皇大神宮の仮宮まで赴く。かつては浜で船渡しが行われた。	「上総沿岸のシオフミ」
91	高根の祭り (住吉神社神幸祭・三嶋神社祭礼)	長生村本郷(住吉神社)・長生村宮成(三嶋神社)	譽田別命・上筒男命・中筒男命・底筒男命(住吉神社)／大山祇命・事代主命・溝昨姫命(三嶋神社)	祭日は旧暦8月13日から9月23日、さらに秋分の日に変更。渡御の途中で2社が一緒になり、競争で住吉神出現の地、一松海岸へ赴く。オハマオリをし、船渡しも行われた。オハマオリは現在休止中。	『ふるさとの思い出写真集』 『長生村風土記 明治・大正編』
92	鈴鹿神社祭礼	長生村一松茂	大己貴命	以前は10月13日だったが現在は10月第一日曜日。囃子とともに一松海岸へ渡御し、オハマオリを行う。	
93	白子まち・南白亀まち	白子町関(白子神社)	大己貴命ほか	かつては旧暦8月13日の祭礼。現在は10月第三土曜日に、隔年で異なる地域を渡御。いずれも南白亀川河口付近で海に入りシオフミという。	『白子町史』『房総の神輿』
94	八坂神社祭礼	白子町浜宿	素戔鳴尊	7月第一日曜日にこども神輿が浜宿海岸へ行く。大漁祈願といわれる。	『白子町史』
95	遠見岬神社祭礼	勝浦市浜勝浦	天富命	9月13日が祭日。現在は敬老の日前の土曜日としている。尊磯にオハマクダリをし、神事を行う。	『祭り・行事報告書』
96	八幡神社祭礼	勝浦市浜勝浦	譽田別命	祭日は9月15日だが、現在は敬老の日(9月第三月曜)に実施。勝浦漁港で船渡しを行う。かつては海中で神輿を揉んだ後に船にあげた。	
97	八坂神社秋祭り	勝浦市新官	素戔鳴尊	地区の3か所の漁港を渡御。昭和54年から勝浦大漁祭りに参加し、9月敬老の日の前土曜日を秋祭りとしている。	『房総の神輿』
98	吉尾のまち・神明神社例祭	勝浦市吉尾	天照皇大神・天兒屋根命・天太玉命	祭日は10月19日だが、現在は10月中旬。浜の波打ち際を渡御。新婚者は3年連続で海に放り込まれた。神輿は海中では担がない。	『勝浦市の民俗』
99	鶺鴒のまち・鶺鴒原大名行列	勝浦市鶺鴒(八坂神社)	須佐之男命	かつては旧暦6月7日だったが現在は7月最終金土曜日。武者行列に先導された神輿が渡御し、鶺鴒原海岸でオハマオリを行う。	『房総の祭事』 『祭り・行事報告書』

No.	名称	所在地	祭神	備考(日時、ハマオリの場所、呼称など)	資料
100	守谷のマチ・大山神社例祭	勝浦市守谷	天照皇大神	10月10日が祭日、現在は10月第二日曜日に実施。浜辺にしめ縄を張った青竹を2本立てる。	『千葉県祭り・行事調査報告書』 『房総の神輿』
101	興津のマチ・鹿島神社例祭	勝浦市興津	武甕槌尊	10月10日が祭日だが、現在は10月第二日曜日に実施。重量1トンといわれる大神輿でハマオリする。海には入らず浜を歩く。	『千葉県祭り・行事調査報告書』 『房総の神輿』
102	行川のマチ・八坂神社例祭	勝浦市行川	素戔鳴尊	7月16日が祭日だが、7月第三土曜日に神輿渡御。漁港前で神輿を揉みハマオリする。	『房総の神輿』
103	八幡神社例祭	勝浦市大沢	大靱別命	7月15日が祭日だが、7月第三土日に神輿渡御。ハマオリがあった。現在休止中。	『房総の神輿』
104	長者五社祭	いすみ市長者地区 (天神社・江場土神社・白井神社・小高神社・六所神社)	菅原道真(天神社) / 天照大神(江場土神社)	9月25日が祭日。かつて5社が村回りの後、宮前海岸に集まりシオフミを行った。現在は中根六社祭と合同の「長者・中根十三社祭り」となっている。シオフミは行われていない。	『岬町史』『祭・行事報告書』 『房総の神輿』
105	大原はだか祭り	いすみ市大原地区・東海地区・浪花地区の計18社	武甕槌命(貝須賀鹿島神社) / 豊玉彦命(深堀瀧口神社)	かつては8月13～15日、現在は9月23・24日に開催。23日に18社が大原海水浴場でシオフミを行う。また深堀瀧口神社、岩船八幡神社、大井瀧内神社、造式日月神社では、地区内渡御の一環で浜に赴く。	「上総沿岸のシオフミ」『大原町誌』『大原町史 通史編』 『祭り・行事報告書』
106	根方山倉様(大六天王)祭礼	いすみ市大原根方	大六天	7月第一土曜日に神輿が地区を回る。途中で根方の浜に赴く。	
107	布施の秋祭り・八幡神社祭礼	いすみ市上布施・御宿町上布施	菅田別命(八幡神社) / 大山祇命・武甕槌命ほか(三島神社)	祭日は9月28日。旧布施村7社の神輿が三島神社に集まる。浜の漁の良い時、「浜も万作で岡も万作にしべえ」と御宿の浜へ神輿を出して海に担ぎ入れた。不漁のときも浜から頼まれて神輿を出した。	「上総沿岸のシオフミ」
108	御宿天王様・八坂神社祭礼	御宿町 旧御宿町6区		7月7・8日に開催。年番区が須賀区・浜区のときは御宿海岸で神輿を担いだまま海に入り、シオフミという。	「上総沿岸のシオフミ」
109	御宿秋祭り・春日神社祭礼	御宿町 旧御宿町6区	天兒屋根命・武甕槌命・経津主命・ 梶幡千々姫命	祭日は9月28日。現在は9月下旬。浜から御宿川に向かい、川に入ることを川渡しといった。その後また、浜に出た。	「上総沿岸のシオフミ」
110	岩和田秋祭り・大宮神社祭礼	御宿町岩和田	大物主命・須佐之男命	祭日は9月29日。現在は9月下旬に神輿渡御を行い、岩和田海岸で神事とシオフミを行う。	『房総の神輿』
111	アンバサマ	御宿町六軒町(大杉神社)		不漁時のマンナオシに海中に神輿を担ぎ込む。神輿が岡に上がると塩を何俵も浜に撒いた。	「上総沿岸のシオフミ」 『夷隅風土記』『御宿町史』
112	諏訪神社例祭	館山市正木(諏訪神社・八雲神社)	素戔鳴命	9月27日が祭日。ホンマチには川崎の八雲神社神輿がオハマデをして諏訪神社に上がり、その後地区内を渡御。	『房総の神輿』『那古史』
113	浅間神社祭礼	館山市館山(上須賀)		6月30日に青年館で祭典をし、7月1日未明に城山山頂の拝殿に参拝。浜の砂を神前に供える。以前はオハマデもした。	『富士をめざした安房の人たち』
114	浅間神社例祭	館山市香	木花咲耶姫命	7月14日が祭日、15日が神輿渡御。7月中旬の土日になった。浜参道からオハマデする。浜辺を渡御し海には入らない。現在休止中。	『房総の神輿』
115	見物刀切神社祭礼	館山市見物	刀切大神	祭日は7月15日。神輿が地区を回り、夜に見物海岸にオハマデを行った。現在休止中。	『房総の神輿』
116	布良崎神社祭礼	館山市布良	天富命・建速須佐之男命・金谷彦命	祭日は7月20日。7月第三日曜日に布良崎漁港で須佐之男命の大神輿がオハマデ(オハマクダリとも)をしたが、現在休止中。	『房総の祭事』『房総の神輿』
117	船形諏訪神社祭礼	館山市船形	建御名方命	7月27日が祭日。船形6地区の屋台・山車・お船が海岸に集まり、砂浜を曳くことをオハマデといった。休止中。	『想い出写真集』『神社名鑑』
118	洲宮神社祭礼	館山市洲宮	天比理刀咩命・天鈿女命・天富命	8月10日が祭日。現在は10日前の日曜日に神輿渡御。洲宮神社の元の宮地である明神山でオハマデを行っている。	
119	安房神社祭礼	館山市大神宮	天太玉命・天比理刀咩命・天富命・ 天忍日命	8月10日に神輿渡御。昭和32、3年頃までは9社の寄合祭。相浜神社の先導でオハマデをした。	『館山市史』
120	諏訪神社祭礼(八雲神社秋祭り)	館山市正木	建御名方命(諏訪社) / 素戔鳴尊(八雲社)	オハマデといい以前は9月27日だったが現在は9月最終日曜日に実施。正木地区総社の諏訪神社祭礼に川崎の八雲神社に神輿が出御・川崎浜にお浜出をしてから諏訪神社へあがる	『那古史』
121	洲崎神社祭礼	館山市洲崎	天比理刀咩命・天太玉命・天富命	8月21日に境内でみのご踊りを奉納し、海岸でオハマデの神事を行う。	『館山市史』『房総の神輿』
122	坂田熊野神社祭礼	館山市坂田	熊野大神	8月21日が祭日。現在は8月第四土曜日に神輿渡御。オハマデで海に入る。	『房総の神輿』『神社名鑑』
123	国司祭・やわたんまち・放生会(古称)	館山市八幡(鶴谷八幡宮)・大神宮 (安房神社)・洲宮(洲宮神社) ほか10社	品陀和気命・帯中比古命・ 息長帯比賣命(鶴谷八幡宮)	9月15日が祭日。現在は敬老の日直前の土日に開催。八幡宮の神輿が海岸近くの御旅所に赴き、オハマデ(放生会の神事)を行う。かつてはすべての神輿が波打ち際に並び、神事のあと船に載せて海に出た。	『館山市史』『やわたんまち』 『房総の祭りと芸能』
124	大川面八雲神社例祭	鴨川市大川面		旧暦6月15日に神輿渡御。加茂川で昭和40年代前半まで神輿が水に入っていた。現在休止中。	『千葉県祭り・行事調査報告書』
125	天津のマチ・天王祭・天津須賀神社祭礼	鴨川市天津	素戔鳴命	戦前は7月7日前後だったが、現在は7月最終日曜日に開催。昭和47年までオハマデを行ったが、堤防改修後は海に出ていない。	『想い出写真集』『安房の昭和』
126	江見のマチ 江見地区合同祭	鴨川市江見 (日枝神社・神明神社など計7社)	大山咋命(日枝神社) / 天照皇大神(神明神社)	10月10日を合同祭の祭日とし、神明神社の神輿と6基の屋台が日枝神社に集まり、祭典ののち地区を渡御。新町海岸の砂浜でオハマデ。	『房総の祭りと芸能』
127	主基地区合同祭	鴨川市成川(加茂神社)	別雷命・倉稻魂命他	10月第二日曜日に開催。加茂神社の神輿を加茂川(現・おどや長狭店付近)に入れた。休止中。	
128	天王様	南房総市和田町真浦(真浦神社)	天照大神・須佐之男命	7月中旬の土日曜日に開催。浜に御仮屋を設け、神輿が地区を回る。かつてはオハマデで海に入っていたが、港ができ海が深くなって中止。	『房総の神輿』
129	神明神社祭礼	南房総市白浜町白浜(名倉)	天照大日靈尊	6月15日が祭日。現在は6月第二土曜日に開催。海岸にオハマデをし、海に入る。	『千葉県祭り・行事調査報告書』 『房総の神輿』
130	八幡神社祭礼	南房総市白浜町白浜(原)	譽田別尊	6月20日が祭日。現在は6月第三土曜日に隔年で開催。海岸にオハマデをし、神輿の揉み差しを行う。	『房総の神輿』
131	熊野神社祭礼	南房総市白浜町白浜(下沢)	櫛御氣尊・伊弉那岐尊・御子速玉尊	7月26日が祭日。現在は7月第四土曜日に隔年実施。下沢漁港にオハマデし、大漁祈願の神事が行われる。	『房総の神輿』
132	浅間神社例祭	南房総市白浜町白浜(塩浦)	木花開耶姫命	7月1日が祭日。神輿渡御・オハマデは隔年。漁港脇でオハマデの神事を行う。	『房総の神輿』
133	青根原神社祭礼	南房総市白浜町白浜(青木)	譽田別尊	7月11日が祭日。7月第二土曜日に隔年実施していたが、現在休止中。	『千葉県神社名鑑』
134	白間津のオオマチ	南房総市千倉町白間津(日枝神社)	大山咋命	かつては7月23～25日の開催だったが現在は7月第四金土日曜。5年に一度の開催。仮宮で「お浜出」の神事を行う	『房総の祭りと芸能』

No.	名称	所在地	祭神	備考(日時、ハマオリの場所、呼称など)	資料
135	高皇産霊神社祭礼	南房総市千倉町千田	高皇産霊神	戦後、千倉町で日程を合わせ7月7日を祭日とし、近年は7月第二土日曜に開催。千田漁港でオハマデ神事を行う。	『房総の神輿』 『千葉県神社名鑑』
136	千倉の祭り(合同祭)	南房総市千倉町(高家神社、千倉神社など旧千倉町8社)		7月第二土日曜日に開催。千倉漁港で8地区の8社合同で神事を行い、またそれぞれの浜でもオハマデの神事が行われている。戦後から8地区合同になった。	『房総の神輿』
137	長尾神社祭礼	南房総市千倉町大川	大山祇命	7月第二土日曜に開催。地域を渡御し、大川漁港前の砂浜でオハマデの祭典を行う。	『房総の神輿』
138	富浦のマチ (多々良地区祭礼)	南房総市富浦町多々良 (滝淵神社など)	天御中主命(滝淵神社)	それぞれの神社由緒に基づく祭日が、戦後、富浦町の合同祭として7月24・25日に統一され、現在は7月第三土日に開催。多々良地区の屋台やお船(船屋台)が滝淵神社に集合。滝淵神社の神輿は夕刻、西浜の竜神様の前でハマオリマツリ。その後、かつては海に神輿を入れて揉んだ。	『房総の祭りと芸能』
139	富浦のマチ (原岡地区祭礼)	南房総市富浦町原岡 (愛宕神社など)	加具土命・素戔鳴尊など(愛宕神社)	現在は7月第三土日に開催。地区の屋台やお船が愛宕神社に集まる。愛宕神社神輿は町内巡行後、浜に出てオハマデ。祭典ののち海に入る。	『房総の祭りと芸能』
140	福澤の祭礼	南房総市富浦町福澤 (金氣神社)	素戔鳴尊	7月第二土日曜日に神輿渡御を行っている。昭和40年頃までハマオリして海に入り、船渡御も行ったという。	『房総の神輿』
141	熊野神社祭礼	南房総市富浦町多田良	伊弉諾尊	9月第一土日曜日に西浜漁港の浜へオハマデ。かつては海に入ったが、今は浜で揉み差しのみ。	『房総の神輿』
142	岩井神社祭礼	南房総市富山町高崎	素戔鳴尊・大己貴神・少彦名神	9月最終土日曜日に神輿が地区を回り、夕方、岩井海岸でオハマデの祭典を行い、神輿が海に入る。	『房総の神輿』
143	岩井のマチ (岩井地区合同祭)	南房総市富山町岩井(岩井神社・天満神社など)	素戔鳴尊・大己貴命・少彦名神(岩井神社)	8月20日以降の土日曜日に開催。地区の神輿と屋台が岩井神社に集まり合同祭典。夕方、岩井神社や市部の天満神社の神輿がオハマデする。	『千葉県祭り・行事調査報告書』
144	八坂神社祭礼	南房総市三芳村府中	須佐之男命	7月13日が祭日。7月中旬となり北条海岸にオハマデしたという。現在は地区祭礼のみ	『千葉県神社名鑑』 『房総の神輿』
145	勝山のマチ・かつちやまつり・勝山合同祭礼	鋸南町勝山(加知山神社など)	建速須佐之男命(加知山神社)	大正6年から7月7～9日の合同祭となり現在は7月第二土日曜に開催。土曜に竜島海岸に神輿・屋台5基・お舟1基が集結し、オハマデを行う。	『千葉県祭り・行事調査報告書』 『房総の祭りと芸能』
146	浮島の舟渡し・浮島神社祭礼	鋸南町勝山 (加知山神社・浮島神社)	景行天皇・日本武尊・磐鹿六獨命	7月8日が祭日。現在は7月第二日曜日に実施。加知山神社神輿が浮島神社に渡御。船で渡し、船渡しという。鯨唄による送迎がある。	『房総の祭事』 『房総の祭りと芸能』
147	保田のマチ・保田合同祭 (川向地区祭礼)	鋸南町川向(磯部神社)	天鈿女命・七面天女	明治から保田地区の合同祭として9月22・23日に行われ、現在は9月最終金土日曜に開催。中日のホンマチに保田神社へ集合。終日(スギマチ)にオハマイリ。木遣りを歌い海に入る。	『千葉県祭り・行事調査報告書』 『房総の祭りと芸能』
148	保田のマチ・保田合同祭 (本郷地区祭礼)	鋸南町保田本郷浜		9月最終金土日曜が祭日。日曜のスギマチに大杉山車のオハマイリを行う。	『千葉県祭り・行事調査報告書』 『房総の祭りと芸能』
149	勝宮のマチ・勝宮の祭礼	袖ヶ浦市岩井(国勝神社)	事勝國勝長狭神・猿田彦神・伊弉諾神・伊弉冉神	「初午」と呼ばれる。7月24日が祭日。7月第三日曜日となり、かつては蔵波海岸でオハマオリをしたが、現在は小櫃川で実施。	『房総の神輿』『袖ヶ浦今昔』 『袖ヶ浦市史 自然・民俗編』
150	飢富宮のマチ・飽富神社祭礼	袖ヶ浦市飯富	倉稲魂命	以前は旧暦6月初午に実施したので「初午祭」といわれる。現在は7月24日が祭日。になり昭和7年まで蔵波海岸で海中の鳥居をくぐり、御手洗の井戸へオハマオリをした。	『房総の神輿』 『袖ヶ浦市史 自然・民俗編』
151	蔵波八幡神社祭礼	袖ヶ浦市蔵波	譽田別命	かつては旧暦8月15日だったが10月第一日曜日となり、蔵波海岸でオハマオリを行った。埋立により休止。	『袖ヶ浦今昔』
152	久保田八幡神社祭礼	袖ヶ浦市久保田		かつては旧暦8月15日だったが11月第一日曜になった。海中に鳥居があり湧水もあった。埋立により休止。	『袖ヶ浦今昔』 『長浦地区の民俗』
153	坂戸神社祭礼	袖ヶ浦市坂戸市場	手力男命	7月29日が祭日。かつては海岸の「休所(おやすど)」までオハマオリを行った。現在は神輿渡御を行っていない。	
154	人見神社祭礼	君津市人見	天之御中主命ほか	7月22日が祭日。現在はその前後の土曜に神輿渡御し、厄神社前(厄神様)でオハマデの祭事を行っている。	『君津市史』『周西地域誌』
155	八幡神社祭礼・坂田の祭り	君津市坂田	譽田別命	9月15日が祭日だが、神輿渡御はその前後の日曜日に実施。オハマオリもあったが、現在休止中。	『周西地域誌』
156	八雲神社祭礼(神渡大祭)	富津市岩坂	素戔鳴尊・奇稻田姫命・大己貴命	かつては旧暦6月7日だったが7月7日を祭日としている。明治の末頃まで例祭のあとに神輿渡御やおハマイリをしたが、現在は神渡大祭のみ。	『房総の祭事』
157	三柱神社祭礼	富津市竹岡	天太玉命・天比理刀咩命・天日鷲命	7月9日が祭日だが、現在は7月中旬に地区内の神輿渡御を行う。港ではオハマデを行う。	『房総の神輿』
158	神明神社祭礼	富津市小久保	天照大神・月讀命・素戔鳴尊	7月29日が祭日。下旬の日曜日に開催。海に神輿が入り、ハマイリという。	『房総の神輿』
159	神明神社祭礼	富津市湊	天照大神	祭日は9月7日で、9月7日に近い土日曜日に開催。湊川近くの海岸で海に入る。神輿は、もと合祀した八坂神社のものといわれている。	『房総の神輿』
160	鶴峰八幡神社祭礼	富津市八幡	譽田別命・玉依姫命・神功皇后	9月15日が祭日だが9月第二土日曜に開催。八幡・大坪・上郷地区の3神輿が新舞子海岸にオハマデしり。	『房総の神輿』
161	吾妻神社祭礼・馬だし祭り	富津市西大和田	弟橘姫尊	9月17日が祭日だが、敬老の日の前日に開催。岩瀬海岸で馬を駆けさせる馬だしのあと、神輿のオハマデが行われる。	『房総の神輿』
162	六所神社祭礼	富津市寺尾	大己貴命・伊弉冉尊・素戔鳴尊・大宮姫命・瓊瓊杵尊・布留魂命	9月下旬に行っている。かつては湊川へハマオリした。神輿巡行は平成初頭までで、現在は山車だけの巡行となっている。	『房総の神輿』

※『千葉郡誌』(1926 千葉県千葉郡教育会) 第14章第3節の「祭礼」の項に次のように記される。

「町村落毎年一回若しくは二回之を行ひ、概して春秋の二季に行ふもの多く、(中略)其の主なる祭式に至りては殆ど異なることなし、(中略)祭禮に神輿渡御の神事あり、神官先駆して部内を揉み巡り、海岸部落にてはお浜下りの式をなす。(後略)」

現千葉県市から習志野市にかけての海岸部では、かつて多くの集落でお浜下りが行われていたようである。県内の他地域にも、拾えなかった事例が数多く存在すると思われる。